



第5回地域・まちづくり委員会を開催しました！

3月31日（金）に第5回地域・まちづくり委員会を Zoom を活用したオンライン形式で開催しました。

はじめに、千葉県生協連の上山専務より、『なのはな生協が中心となって開催しているこども食堂「からべえ」について、立ち上げのきっかけから現在の状況まで、なのはな生活協同組合副理事長の涌井修さんにお話いただきます。』と挨拶がありました。

1. 学習会「子ども食堂と地域との関わり」

なのはな生協副理事長 涌井修氏

2016年、子どもの貧困が社会的に大きく取り上げられたとき、生協として支援できることを検討し始め、子どもの居場所づくり、学習支援、食の支援などが必要として、子ども食堂開設の準備を始めました。2017年2月より地域住民、地区社協、なのはな生協による「子ども食堂運営委員会」において開設に向けての検討をおこない、要保護世帯やひとり親世帯の多い成田市加良部地区で子ども食堂を開設することになりました。

2017年7月にこども食堂「からべえ」がオープンしました。半年が経過する頃には子ども食堂の存在が地域に浸透し始め地域の企業や生産者、個人から、米、肉、野菜、牛乳による食材提供が増えてきました。

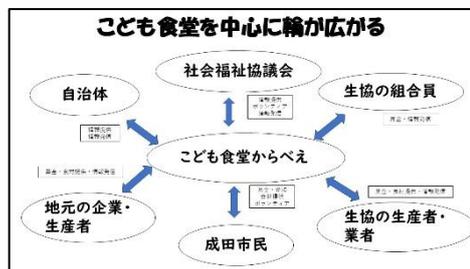
コロナによる外出制限期間は、「学校の給食がなくなった時こそ、子ども食堂の食事が重要」という意見によりお弁当の配布や食材提供など形を変えて支援を続けました。開設から5年が過ぎ、「なのはな生協」という名前を出さずに活動することで行政、社協、生産者、企業、個人など様々な方々が「子どもたちのため」という気持ちで繋がり、運営に携わっています。

参加者からは、地域と生協が、課題解決のために協働で活動している状況についていろいろな質問がありました

涌井修副理事長



地域とのつながりのようす（資料から）



以上